

vol. 32 【好循環 今年は？】

暑かったり、寒かったりととても忙しい冬から春への移行期間でした。自然が相手の仕事も多く「ドギマギ」「アタフタ」の連続でした。それでも3月の半ばには「ノースポール」が育ちプランターに植付けて、レストハウス前に展示しました。余った苗は廉価で販売しお客様の反応も良好でした。4月に入るとチューリップのつぼみが膨らみこれも展示した残りを販売しました。毎年このころには「タケノコ」も伸びはじめますが、今年はなかなか「芽」が確認できずタケノコを楽しみにしていた皆さんにはさんねんな年になりました。

この後に伸びるタケノコは今後の竹林を支える竹に成長してほしいと思っています。

今、バックヤードでは「マリーゴールド・ヒマワリ」の苗を育てており、本葉が出そろってきました。連休明けには販売できればと思っています。ご期待ください。



また、今年初めての試みで、「ニホンミツバチ」のための巣箱を設置して、誘致に努め生物多様性を高めたいと活動を始めました。

この事業は、我々、緑とコミュニティグループとNPO法人ビーフォレスト・クラブの協働事業としてスタートし、とりあえず4基の巣箱を据付けました。

